

10 港湾整備の推進について

(国土交通省)
(中国地方整備局)

提案の要旨

国際海上輸送網の中核国際港湾としての特定重要港湾広島港の整備推進
国内外海上輸送網の拠点となる重要港湾福山港・尾道系崎港・呉港の整備推進
地域経済を支える物流拠点，沿岸部や島しょ部の生活拠点港・産業を支える港となる地方港湾の整備推進

現状及び課題

【現 状】

広島港は，中国四国地域の中核国際港湾として，政治・経済・文化の中枢を担う重要な役割を果たすため，国際物流・交流拠点の施設整備を推進している。

福山港は，県東部地域のコンテナ物流の拠点や産業活動を支える基盤としての機能強化，尾道系崎港は，西日本の輸入木材の取扱拠点としての機能強化や賑わいのあるウォーターフロント空間の創出，呉港は，呉市が，臨海工業を支える貿易港として機能するとともに，海上交通の要衝としての役割を担う港湾施設の整備を推進している。

地方港湾は，交通拠点，流通拠点及び防災拠点等として，また，沿岸部や島しょ部の産業・生活基盤として，極めて大きな役割を担っている。

【課 題】

広島港は，中四国地域の中核国際港湾として，国際物流・交流拠点の機能強化を行うとともに，魅力ある港空間の創造や自然と共生できる港空間の形成が求められている。

また，廃棄物海面処分場は，都市部で逼迫する一般廃棄物及び産業廃棄物等の処分地確保のため，早急な整備が必要である。

福山港は，増大する国際コンテナ需要に対応するため岸壁（-10m）等の早期整備と経年の埋没により機能低下を来している本航路地区航路（-16m）の早期機能回復を行う必要がある。

尾道系崎港は，物流の効率化を図る臨港道路や大型船の入港が可能な航路等の施設整備が必要である。

呉港は，物流の効率化を図る複合一貫輸送ターミナルや臨港道路等の施設整備が必要である。

地方港湾は，通勤・通学・生活物資の運搬のため，フェリーターミナルの施設整備等が必要である。

これまでの取組状況及び前年度提案結果

【取組状況】

ア 広島港	出島地区	H15年3月	国際コンテナターミナル(-14m岸壁)1バース供用
		現在	廃棄物埋立護岸等整備中
	宇品(内港)地区	H15年3月	宇品旅客ターミナル供用
	宇品(外貿)地区	H17年10月	ドルフィン(-10m)供用
イ 福山港	五日市地区	H19年4月	岸壁(-11~12m)2バース供用
		現在	人工干潟整備中
	箕沖地区	H17年3月	岸壁(-10m)1バース供用
ウ 尾道糸崎港	本航路地区	現在	航路(-16m)整備(浚渫)中
	機織地区	H12年度	ドルフィン(-12m)1バース完成
エ 呉港		現在	航路・泊地(-12m)H19年度暫定(-10m)供用予定
	貝野地区	H14年度末	岸壁(-7.5m)暫定供用
	阿賀マリノリ地区	H18年末	岸壁(-7.5m)2バース完成
オ 大竹港	東栄地区	H18年4月	岸壁(-11m)1バース供用

【前年度提案結果】

港湾整備事業 (全国枠国費) 234,110百万円(対前年度比96.7%)

提案の内容

特定重要港湾広島港の整備の着実な事業実施に向けた財源確保を行うこと

- ア ポートルネッサンス21事業地区
 - 出島地区 廃棄物埋立護岸等の整備
- イ 五日市地区 人工干潟の整備
- ウ 元宇品地区 防波堤の整備

重要港湾福山港・尾道糸崎港・呉港の整備の着実な事業実施に向けた財源確保を行うこと

- ア 重要港湾福山港
 - 箕沖地区 多目的国際ターミナル(福山港国際コンテナターミナル)の第2期整備
 - 本航路地区 航路(-16m)の整備(浚渫)(直轄)
- イ 重要港湾尾道糸崎港
 - 機織地区 山波松永線(臨港道路)の整備
- ウ 重要港湾呉港
 - 阿賀マリノリ地区 阿賀マリノポリス線(臨港道路)の整備

地方港湾の整備の着実な事業実施に向けた財源確保を行うこと

- ア 大竹港(東栄地区) 緑地等の整備
- イ 小用港(ウシイシ地区) 小型船だまりの整備
- ウ 千年港(常石地区) 小型船だまりの整備
- エ 横田港(坊地地区) 小型船だまりの整備
- オ 土生港(箱崎地区) 小型船だまりの整備 等